

令和 5 年

第 4 回防府市議会定例会

一 般 質 問

9 月 1 1 日（6 人）

1 梅本 洋平・2 河村 孝・3 宇多村史朗・4 上田 和夫
5 山田 耕治・6 石田 卓成

9 月 1 2 日（5 人）

7 橋本龍太郎・8 藤村こずえ・9 村木 正弘・10 田中 健次
11 清水 力志

9 月 1 3 日（5 人）

12 松村 学・13 和田 敏明・14 高砂 朋子・15 三原 昭治
16 安村 政治

No.	1	梅本 洋平
質 問 事 項		要 旨
1	旅客運輸業界のドライバー不足解消について	我が国では人手不足が慢性化しており、深刻な社会問題となっている。タクシー業界やバス業界においてはドライバー不足により減便が拡大している。それに加え「物流の2024年問題」により、さらなるドライバー不足が予想され、これにより交通手段の減少が起これば市民の皆様の生活にも大きな影響を及ぼし、市の発展を阻害すると感じている。問題改善へ向けて後押しできることはないだろうかと考えている。ご所見を伺う。
2	Jアラート発令時、国民保護法に基づく市の取り組みについて	Jアラートの発令は今年だけでも4／13北海道、5／31に沖縄、8／24沖縄と北朝鮮のミサイル発射によって発令されており、防府市においてもいつJアラートが発令されても不思議ではない状況である。 市では国民保護法に基づき防府市国民保護計画を定めているが、この資料は100ページを超える量であり、市民の皆様が理解するのは困難と考えるので要約してお答えいただきたい。 (1) Jアラートが発令した場合、市民の安全を守るために、市はどのような取り組みを行っているか。 (2) 学校にいる子供たちの安全を守るために、どのような取り組みを行っているか。 (3) 登下校中の場合、どのような行動をとるべきと指導されているか。 (4) 現在、小・中学校で行われている避難訓練等にJアラートの想定は含まれているか。

No.	2	河村 孝
質 問 事 項		要 旨
1 人手不足対策について		市内の中小企業は、人手不足が深刻化している。「求人を出しても、全然応募が来ない」等、慢性化している状況がある。 特に、２０２４年問題で運送業や建設業では、大変な状況で、バスやタクシー運転手等では、公共交通の利用者でもある市民にも影響を及ぼしている。 また、保育士や介護職のような市民生活に直結した福祉分野等でも、人手不足が続き、さらに、医療分野においても、高齢化が進む医師や看護師など、幅広い分野に及んでいる。 このような人手不足対策として、現在、ＤＸによる効率化、高齢者の再就職支援、女性のキャリア形成支援等が進められているが、本市として、現状をどのように捉え、どのような対策を考えるのか、ご所見を伺う。 (１) 本市の人手不足対策について (２) 未来を見据えた人手の確保について
2 浸水被害を防ぐための雨水対策について		本市では、６月３０日から７月１日まで、２４３．５ミリの大雨が降り、市内複数箇所で道路の冠水が発生した。また、７月７日から７月１０日まで２８８．５ミリの大雨が降り、向島の県道の土砂崩れにより、小田地区が一時孤立状態となった。 今後の大規模な浸水被害などを心配し、雨水施設の早急な整備、安心な道路を願う市民の声が多い。今後の雨水対策のご所見を伺う。 (１) 浸水被害を防ぐための雨水対策について (２) 県道防府停車場向島線の土砂崩れによる通行止めについて (３) 小徳田アンダーパスの雨水対策について

No.	3	宇多村 史朗
質 問 事 項		要 旨
1	防災力のさらなる強化に向けて	6月30日から7月10日にかけての2週連続の大雨は、山口県にも大きな被害をもたらした。 本市においては、防府天満宮大専坊の石垣の損壊や、向島小田地区が一時孤立状態となるなどの事案があった。その後も、全国では台風6号や7号による被害が生じている。 このたびの大雨の対応について伺うとともに、さらなる防災力の強化に向けた考えを伺う。
2	防府市農業公社の今後のあり方について	県の農林業の知と技の拠点が供用開始され、拠点のある本市の農業振興に効果をもたらすものと期待しているところだが、拠点との連携など防府市農業公社の今後のあり方を市としてどのようにお考えか伺う。
3	介護保険の認定について	(1) 本市の場合の申請から認定までの流れについて (2) 介護保険の認定について、わかりやすい説明を、市のホームページに掲載していますか。 (3) 要支援から要介護になった時の、ケアマネジャーの選定について (4) 地域包括支援センターの職員に対し、相談に対応するための研修を実施していますか。

No.	4	上田 和夫
質 問 事 項		要 旨
1	今後の財政運営について	令和5年度当初予算と同時に示された中期財政見通しでは、今後の安定した財政運営が示されていた。その後、国の子ども政策や物価高騰の影響などにより状況も変わってきているが、今後の財政運営をどのように考えておられるか御所見を伺う。
2	公民館の整備について	公民館の整備については、施設の老朽化や立地条件、道路環境など地域の実情を総合的に勘案し、検討していくとのことだったが、現時点でどのように考えておられるか御所見を伺う。

No.	5	山田 耕治
質 問 事 項		要 旨
1	防災・防犯カメラ設置の推進について	(1) 防災・防犯カメラについては、小・中学校や河川等、推進を促してきたが、市における防災・防犯カメラ設置の推進に対する考えは？ (2) 防犯の面での小・中学校における不審者情報等の状況と、防犯カメラ設置の増設や活用状況は？ (3) 危険な通学路等、見守りとしての防犯カメラ設置も考えるべきでは？ (4) 市民の安全安心なまちづくりを進める中で、公共施設の防犯カメラ設置状況は？ (5) 「（仮称）防府市防犯カメラの適正な設置及び利用に関する条例」の制定や、設置に対する補助金等、検討すべきと思うが如何か？ (6) 河川等防災監視システムの画像は、35か所の河川等の防犯にも役立っている中、多くの方が本来の目的である大雨や台風等の災害時に活用していると思う。 河川カメラのページに潮位ページへのリンクを設定し、関連性のあるデータをすぐに確認できれば、システムの利便性向上につながると考えるが如何か？
2	市が管理する施設について	(1) 青果市場の多目的使用について検討をすべきでは？ (2) 大型遊具も含め、人気のメバル公園ですが、沢山のイベントや誘客を考慮した場合、旧せり場の活用PRや整備をすべきでは？ (3) 防府地域職業訓練センターの使用状況と施設整備に向けた考えは？

No.	6	石田 卓成
質 問 事 項		要 旨
1 地域に飛び出せ！社会貢献職員応援制度（仮称）の創設について		（１）令和２年３月の一般質問において、市職員の報酬が伴う地域活動への参加の基準を作るように要望しましたが、その後の取り組みは、どのようになっていますか。 （２）現在、自治会役員や、各種公益団体、有償ボランティア、農業や漁業などの一次産業、スポーツ少年団や、部活の指導などの公益に資する活動を行っている職員の数を、人事課で把握していますか。報酬が発生しているものを含め、内容と件数を教えてください。 （３）公務員が地域において、公益的な活動することは、地域とのコミュニケーション能力の向上や、市役所全体のイメージアップにも繋がることから、住民と関わる様々な仕事を進めていく上でも大いに役立つと考えます。そのような地域で活躍する職員を今後更に増やしていくためにも、総務省が示している全国各地の具体的な取り組み事例の内容を具体的に周知するとともに、職員に対し、報酬が発生するものだけでなく、発生しないものも全て含めた状況調査を行い、人事評価に反映させたり、優良事例を表彰するなど、素晴らしい事なのだとすることを周知する必要があると考えますが、如何お考えでしょうか。 （４）将来は、島根県海士町のように市役所での公務と他産業の仕事を兼務する半官半民が必要になる時代がくると考えています。まずは、これまでの取り組みを、もう一歩前に進め、一次産業のお手伝いなど公共性の高いものを基準に含めた、山口県内では初となる新制度を、来年度から防府市で実施しては如何でしょうか。

No.	7	橋本 龍太郎
質 問 事 項		要 旨
1	防府市のＤＸ推進について	(１) ＤＸ推進における生成ＡＩ活用に向けての防府市の考え方について (２) ＤＸ推進における教育分野の現状と課題について
2	アウトドアツーリズムについて	(１) 防府市サイクリングターミナルの利用状況について (２) ゆうゆう広場キャンプ場の利用状況について (３) キャンプ場として利用可能な施設の今後の整備について

No.	8	藤村 こずえ
質 問 事 項		要 旨
1	道路整備に伴う、華城小学校と、その周辺整備について	令和４年３月の議会答弁において、華城小学校西側の市道小徳田野地線の道路拡幅工事については、学校用地の一部が道路用地に取り込む必要があるため、その代替用地の確保が必要であるとのことであった。 今年度、華城留守家庭児童学級の移転に伴う用地購入・設計及び、小学校の建替えも踏まえた周辺整備の在り方について検討されているところであるが、その整備方針と進捗状況について伺う。

No.	9	村木 正弘
質 問 事 項		要 旨
1 がん対策について		国は今年の３月２８日に、２０２３年から６年間のがん対策指針となる「第４期がん対策推進基本計画」を閣議決定。本計画では、「誰一人取り残さないがん対策を推進、すべての国民とがんの克服を目指す」とされている。がん検診を受診する人を増やすことが重要と考えるが、市としての考えを伺う。また、以下４点提案するが如何か。 (１) がん検診の必要性を周知するために市広報・ホームページ以外に検診ガイドを配布しては如何か。 (２) 総合がん検診の受診が多く予約がすぐに埋まってしまうと伺っているが、もっと多くの方が受診できるようにしては如何か。 (３) 本市では肺がん検診のみ医療機関での実施がなされていないが、何か理由があるのでしょうか。集団検診だけでなく、医療機関検診も実施しては如何か。 (４) ＨＰＶワクチンの男性への接種費用の助成をしては如何か。

No.	10	田中 健次
質 問 事 項		要 旨
1	国民健康保険料について	国民健康保険事業特別会計の令和4年度決算をみると、1億円の基金積立を行い、翌年度繰越額も前年度並みです。この10年以上の国保財政をみると、年平均8,000万円強の黒字が積みあがり、基金残高も19億円弱となった。 一方で、防府市の国民健康保険料は、県内でも高いグループに属し、保険料の引き下げを検討すべきではないか。その際には、他市と比べて高い均等割と平等割を中心に引き下げるべきではないか。
2	留守家庭児童学級について	右田小学校の留守家庭児童学級では、入級希望者が多く3年生は入れないと聞き、6月議会の委員会で、今後の対処策と全市的な留守家庭児童学級の状況を尋ねた。示された資料から、かなりの小学校区で学級数を増やすことが必要と思われる。 防府市の留守家庭児童学級を計画的に抜本的な拡充をすべきと思うが、どう考えているのか。
3	公文書管理について	(1) 公文書管理法の趣旨にのっとり、公文書の適正な管理のため、公文書管理条例を制定すべきではないか。 (2) 歴史公文書について、どのように位置づけ、保存していくのか。 (3) 新庁舎への移転に際して、重要な公文書、歴史的な公文書が失われないようにすべきと思うが、どのように考えているのか。

No.	1 1	清水 力志
質 問 事 項		要 旨
1	生活保護制度のホームページについて	市ホームページに生活保護の申請は国民の権利であること、生活保護を必要とする可能性は誰にでもあるということ、ためらわずに相談に来ることを掲載してはどうか。 また、現在、生活保護制度のところに「保護を受けたいと考えておられる方は、次のような努力をして下さい」と掲載されているが、市民から「この項目を見ると申請に躊躇してしまうのではないか」との意見を頂いた。この項目は削除するべきと考えるが、どうか。
2	自衛官募集事務に係る個人情報提供について	2019年（令和元年）6月議会の質問で募集対象者情報の提出について「他市の状況も注視しながら、慎重に検討をしている」との答弁だったが、現在はどのように対応しているか。
3	学校給食費の無償化について	日本国憲法第26条第2項では「義務教育は、これを無償とする」とされている。また政府の「異次元の少子化対策」などを踏まえ、政府の指示待ちではなく、市独自の学校給食の無償化について真剣に考えるべきではないか。

No.	1 2	松村 学
質 問 事 項		要 旨
1	中学校部活動の地域移行について	文科省が２０２０年９月に学校の働き方改革を踏まえた部活動改革を発表してから、全国公立中学校における部活動の地域移行の検討がされており、今年度から令和７年度にかけて改革推進期間とされています。 本市でも６月議会で質問がありましたが、保護者への周知もまだ広まっておらず、各部活の編成方針や移動手段、部活動費の新たな負担増など、今後、部活動をする子供達やその保護者の方は不安を抱えておられます。今後の方向性次第では、子供に部活を満足にさせてやれないなど、保護者からたくさんの声が寄せられており、何とか良い方向に導いていただきたいと教育委員会に期待しています。 そこで、今後のスケジュール、移動手段、新たな部活動費用に対する救済措置、指導者の発掘方法などお聞きし、併せて、１学期にアンケート調査を小学校４～６年生と中学校１、２年生を対象に実施されていますが、どのような声があったのか、また今後、保護者会などを利用して、全体説明会ができないかお尋ねします。

No.	13	和田 敏明
質 問 事 項		要 旨
1 防災について		情報発信・避難対応等について
2 移動支援について		交通弱者等への移動支援について

No.	14	高砂 朋子
質問事項		要 旨
1	社会全体で子育てを応援する取り組みについて	(1) 「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同する「こどもまんなか応援サポーター」の市としての宣言及び幅広い子育て応援の取り組みについて (2) 子連れの方々が安心して施設利用やイベント等に参加できる「こどもファスト・トラック（特別な近道）」の取り組みについて (3) 「子ども家庭総合支援拠点」と「子育て世代包括支援センター」の更なる連携強化及び総合的な情報発信について (4) 親の就労の有無にかかわらず保育所等を利用出来る「こども誰でも通園制度」への対応について (5) 子ども達が安心して利用出来る公園の整備について
2	性的少数者の理解増進に向けた取り組みについて	(1) 性的少数者に対する理解を増進するための本市の取り組みについて (2) 「パートナーシップ宣誓制度」の導入について (3) 本市の教育の現場での対応について

No.	15	三原 昭治
質 問 事 項		要 旨
1 緊急通報装置事業について		防府市では、高齢者や障害者の方などの急病等の緊急時における通報対応システムとして、緊急通報装置の設置による緊急通報体制の整備事業を実施しています。 安心して在宅生活を過ごしていただくことを目的に行っている事業は、設置した方からは「安心。早くつければよかった」などと好評です。また、当事者のみだけではなく、その子どもさんなど親族者からも「安心で、助かります」と喜ばれています。 一方で、緊急通報装置事業を知らない方も多くあります。そこで、周知の徹底など、事業の現況と今後の取り組みについてお尋ねします。
2 地域部活動推進事業について		防府市教育委員会では、現在実施している中学校の部活動を、これまでの学校で教員が指導している形から、地域団体や地域のスポーツクラブなどの関係者に変更、移行する地域部活動推進事業が進められています。 一方では、当事者の子どもたちをはじめ、学校の教員、保護者からは、具体的な形や内容が見えないことなどから、不安を抱く声が多く上がっています。 その点などを考慮し、現時点での進捗状況等についてお尋ねします。

No.	16	安村 政治
質 問 事 項		要 旨
1	三田尻中関港の更なる活性化について	水産市場、潮彩市場、メバル型遊具がある一帯の愛称が「メバル公園」となり、賑わいが増す中で、物流の拠点である中関港の活性化にどのように取り組んでいくのか伺う。

